

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立 中学校第2学年

	授業における課題や学力調査資料から見た課題	授業改善のための具体策	成果と課題(年度末)
国語	<p>・都の学力調査の正答率では、「話す・聞く」は80%、「読む」「知識理解」は70%を超えているのに対し、「書く」では65%にとどまっております。学年として文章を書くことを苦手としていることが明らかです。</p> <p>・授業では、定期的な漢字テスト、文法テストなど知識を問う問題は得意としていても、知識を活用して、「書く」「話す」ことを苦手としている生徒が多い。</p>	<p>・読み取ったこと、考えたことをレポートや作文形式で書いて表現することを多く取り入れたい。また、それら文章を文法、言葉遣い、漢字、文章の構成などの観点から細かく採点し、生徒に生徒自身が自分の課題を自覚し、改善していけるように促したい。</p> <p>・読み取ったことや学んだ知識を用いた「話す」「書く」などの言語活動をより一層取り入れ、知識等を活用して学びを深める授業展開を作る。</p>	<p>・読み取ったこと、考えたことをもとに表現する活動を多く行い、知識の習得と表現をスパイラル的に育めるよう授業を展開した。</p> <p>・知識量を増やし、思考・表現がより豊かになるように指導していく。</p>
数学	<p>都の学力調査を分析した課題は以下の通りである。</p> <p>・既習内容の基本的な技能(文字式の計算、方程式の解き方)を苦手としている生徒が散見された。</p> <p>・グラフから必要な情報を読み取ったり、筋道を立てて説明することを苦手としている生徒が多く見られた。</p>	<p>・授業中に既習内容を振り返ったり、時間を確保して生徒が繰り返し演習する時間を設ける。定期的に数学的な技能を繰り返し演習できる教材を用意し、家庭学習できる環境を整える。</p> <p>・授業の中で必要な情報を読み取る練習を丁寧に指導する。また、等しくなる理由を説明させたり、論理的(帰納的・演繹的)に説明する機会を設けていく。</p>	<p>・副教材やプリントによる演習を実施した。次年度は週ごと、月ごとに課題を用意し短いインターバルでの演習を実施したい。</p> <p>・引き続きなぜ成り立つのかという問いかけを大切に、論理的に説明できる生徒の育成に努めていく。</p>
社会	<p>意欲的に取り組んでいる生徒が多い。積極的に発言する生徒も見られるが、基本的な知識が身につけていない生徒や発言に積極的ではない生徒も多い。コロナウィルスの感染拡大防止の対策を取りながらグループでの話し合いや教え合いの活動に取り組みみたい。</p>	<p>基礎・基本となる知識や技能を身につけるよう、繰り返しや振り返りの時間をきちんと確保する。家庭学習の時間を確保しやすいように宿題や課題を増やす。</p>	<p>ワークによる振り返り、復習を行うことができたが、グループワーク、教え合いについては多くの時間を取ることができなかった。学習内容の定着も今一つ不十分であった。小テストなども取り入れ、基礎学力の定着を図る必要がある。</p>
理科	<p>全体的に意欲的に取り組む生徒が多い。授業中の発言も多く、考える時間を取ると、相談しながら発言する生徒が多い。しかし、課題に対して、文章で表現することが苦手である生徒が多い。また、問題の意図や意味を正確に理解できない生徒も少なからずいる。時間をかけて説明すると理解できることがある。</p>	<p>繰り返しの質問やワークに複数回取り組むことの習慣化を通して、理解できるようにする。また、漢字、計算などの基礎的なワークをやることで、自分の考えを文章化する能力を身につける。</p>	<p>実験が計画通りに実施できない期間にも、映像を取り入れ、考えさせる授業を実施した。説明に時間をかけた単元は、理解も深まった。また、単元ごとにテストを実施したところ、予習の取り組みが見られた。考えを文章として表現することは、飛躍的にできるようになったわけではないが、パターン学習をすることで、学年の当初よりは進歩が見られた。</p>
音楽	<p>歌唱活動に意欲的な生徒が多く、にぎやかに明るく活動することが出来る。向上心があり、その他の分野に対しても積極的に参加する。課題としては、器楽活動の技能面の拙さが挙げられる。特に管楽器における演奏面での知識が薄く、基本的な構え方から学習しなおさなければならないこともある。</p>	<p>器楽活動の技能面の知識を数多く伝え、実践させることを優先したい。学習意欲が高いため、要求する学習水準を上げた方が良いように思われる。歌唱活動においては、合唱の活動を通じて生徒による自治的な活動を推進したい。トップダウン的な指導だけではなく、パートリーダーを使って生徒自身で課題を発見し、小集団に共有、還元できる能力を高めていく。</p>	<p>歌唱分野で著しい成長が見られた。休み時間中から歌声が聞こえるなど、非常に意欲的になった。一方、器楽分野で苦手意識を持っている生徒が多く、技術的な改善は見られたが、意欲的とは言えない場面もある。鑑賞分野では例年の倍近くの時数を取らざるを得なかったのが、映像鑑賞が中心のため負担は感じなかった。</p>
美術	<p>説明や指示を聞く時間と制作の時間との切り替えができるようになり、制作時間を多く取れるようになってきた。優れた表現をする生徒も目立っており、引き続き自信をつけさせながら高い技能を身に付けさせていきたい。</p> <p>また、鑑賞の能力も向上しているようで、感じたことを言葉で表す力をさらに高めていきたい。</p>	<p>構想を練るときに、様々な角度からイメージを膨らませてから色や形で表現できるように、アイデアスケッチを用いたり、生徒同士の意見交換の場を設けたりして、言葉によるイメージの具現化から制作に入る活動を増やす。</p> <p>また、制作後の鑑賞時にもコミュニケーション活動を増やしていきたい。</p>	<p>概ね目標を達成することができた。意見交換や、他者の発想を学ぶ機会も設けることができた。</p> <p>個別の対応をもう少し増やしていきたい。</p>
保健体育	<p>昨年の課題であった集団行動ができるようになったことで、集合・整列、説明を聞く態度、説明後の動きなど、全体的にきちんと取り組めるようになった。運動の特性を正しく理解し、お互い学び合えるよう、考えて行動できることが課題である。</p> <p>基礎的な体力、運動能力については、多くの生徒が自信につながる成果を得てきた。さらに、地味な練習の繰り返しや負荷を増やすなど、精神的な向上も期待していきたい。</p>	<p>引き続き、毎回の授業で継続走や補強運動を取り入れ、体力の向上に努めていく。さらに、12分間走を実施し、持久力を高めていく。また、各種目の特性や練習ポイントなど、知識・理解を深め、自己の的確な課題の設定ができるようにするとともに、グループ内での学び合いの力を高め、考えて行動する場を増やし、さらにはリーダーを育てていけるよう、指導していく。</p>	<p>コロナ禍で指導に制約がある中、工夫しながら体力の向上に努めることができた。</p> <p>ダンスの授業では、次年度の運動会を想定して、ハカとソーラン節に取り組むことによって学年の団結力を高められたことは成果である。</p>
技術・家庭	<p>実習をおとして技能を高めるとともに、創意・工夫が必要な教材を用意して、意欲的に学習に取り組み授業を計画的に展開する必要がある。</p> <p>衣服や住まいについての学習を通し、衣服の選び方や、手入れの仕方など、快適な住生活を送る工夫を家庭生活と関連させて学習する必要がある。</p>	<p>今日的な課題としてエネルギー関係についての知識を深める指導もする。</p> <p>衣服を買うときの知識を持たせ、日常着の手入れの仕方を自分で選択できるようにさせる。快適に住むための条件や手入れの仕方を指導し、生活を豊かにする作品を制作させる。</p>	<p>実習を通して目標とする内容を学習できた。また情報機器を活用し映像教材を併用することでその内容をより深めることができた。</p> <p>エコバッグの製作を通して、衣生活に関する知識や衣服の手入れに関する方法を学習し、学んだことを家庭生活に役立てられるような課題に取り組んだ。</p>
外国語(英語)	<p>・学力調査資料により、長文読解、英作文に課題がみられた。原因として1年からの既習英単語が定着していないことが考えられる。また、今後とも増えていく新出単語において、定期的に定着させる必要がある。</p> <p>・授業においては、単語の発音や文の理解が困難なために、本文の音読がスムーズにできていない生徒が見受けられる。</p>	<p>・定期開催している“スプリングコンテスト”の問題に1年生で学習した単語を入れ、新出英単語力を強化するために単元ごとの単語テストを授業内で実施する。</p> <p>・ALT授業において音読テストを実施し、生徒の音読練習を増加させ、音読スキルの向上を図る。</p>	<p>スプリングコンテスト・単元ごとの単語テストの他に毎時間、単語小テストを実施し、さらなる定着を図った。</p> <p>また、ALT授業における音読テストでは、各生徒がスキル向上のために努力を重ね、一定の成果を挙げられた。</p>
総合	<p>全体的に意欲的に取り組む生徒が多い。調べた内容を分かりやすくまとめる力も育っている。自分の考えを発表する力を身に付けさせていく必要がある。</p>	<p>調べ学習や調べた内容をまとめ発表する機会を設け、自分の考えをまとめ発表する力を付けさせていく。そのための場面を多く設定していきたい。</p>	<p>調べ学習を中心に、工夫して行なうことができた。まとめ、発表も複数回行うことができ、成果につながっている。</p> <p>実地の活動ができなかった点が課題である。</p>
道徳	<p>登場人物の心情を読み取ったり、意見交換を行ったりする活動を通して、道徳的な価値を身に付けようとしている生徒が増えてきた。積極的に意見交換する機会を設け、他者の意見を聞いて自分の考えを深められるようにしていく。また、自分の意見を発言できるばを増やす。</p>	<p>生徒が興味関心をもつ教材の工夫を行い、話し合い活動を充実させることによって、自分の考えを深めたり、様々な考えがあることに気付かせていく。また、発言を肯定的に取り上げていく。</p>	<p>十分に目標を達成することができた。ローテーション授業も取り入れて、多面的に学ぶことができたと思う。今後も継続して取り組ませたい。</p>